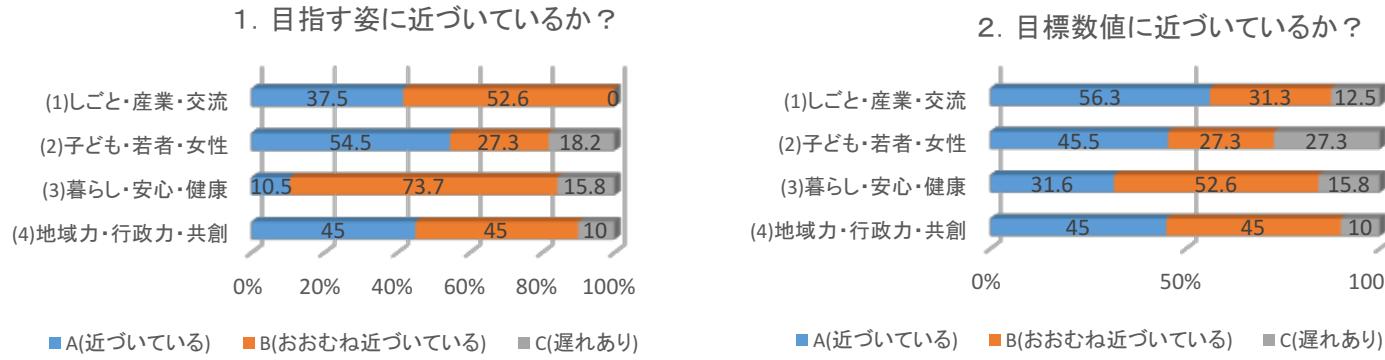
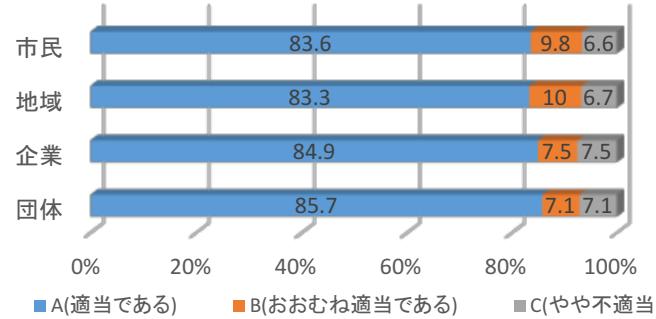


# 【第2次二戸市総合計画のこれまでの取り組みと平成30年度の主要事業について】

## ★平成28年度（計画初年度）の事業評価（ローリング）



### 3. 目標を実現するための役割分担はよいか(全体)



昨年8～9月、全庁において、平成28年度（計画初年度）の事業評価を試験的に実施。

アクションプランの各項目において掲げる「目指す姿」と、「目標数値」に近づいているか、その進捗度を各課で評価。「近づいている」「おおむね近づいている」が多数を占めた。なお、「遅れあり」と評価されているものの一部については、プランの見直しが図られている。

また、実施計画についても、平成28年度の実施内容を評価し、進捗状況や今後の国、県の財政状況等をふまえ、必要に応じて見直しを行った。

## ★平成30年度の主要事業

### (1)しごと・産業・交流

#### 【うるし】

- ・漆搔き職人/木地師 育成事業
- ・原木確保対策事業
- ・浄法寺漆・浄法寺塗発信事業
- ・浄法寺漆ふるさとづくり事業

#### 【農業・林業】

- ・葉たばこ品質向上支援事業費補助金
- ・園芸産地拡大支援事業費補助金
- ・にのへ三大ミート/フルーツの里 流通・展開事業費補助金

#### 【地域企業】

- ・食産業振興事業上水道負担金

#### 【雇用】

- ・ふるさと就職支援事業

#### 【観光・交流】

- ・二戸市観光協会補助金

#### 【ブランド・流通】

- ・いわてカシオペアブランド発掘・発信事業

「モノ」「ヒト」が紡ぐ  
「ストーリー」が  
生み出す産業

### (2)子ども・若者・女性

#### 【子育て】

- ・放課後児童対策事業
- ・病児等保育事業

#### 【移住・定住】

- ・移住・定住推進事業

#### 【若者の活躍】

- ・若者元気づくり交付金

#### 【学校教育】

- ・異文化交流推進事業
- ・学力向上推進事業
- ・にのへ土曜チャレンジ塾事業
- ・小中学校文化、体育大会出場費補助金

すこやかな心と体、  
ふるさとへの愛をもつ  
“未来人”

### (3)暮らし・安心・健康

#### 【歴史・伝統】

- ・史跡九戸城跡環境整備事業
- ・九戸城情報発信、活用事業
- ・明治150年関連事業

#### 【健康】

- ・ロコモティブシンドローム予防事業
- ・脳卒中等予防改善事業
- ・にのへ健康マイレージ事業

#### 【防災・安全】

- ・防災行政無線等整備事業

#### 【地域】

- ・町内会等地域づくり事業補助金

#### 【生涯学習】

- ・楢陰舎きぼう塾事業

#### 【高齢者】

- ・地域包括支援推進事業

#### 【生活環境】

- ・ごみ減量化実証実験事業

#### 【公共交通】

- ・公共交通利用実態調査事業

生きる喜びを感じる  
明るい住民  
明るい地域

### (4)地域力・行政力・共創

#### 【道路】

- ・道路新設改良舗装事業

#### 【都市計画】

- ・新幹線二戸駅周辺地区土地区画整理事業
- ・新規街路整備橋梁予備設計事業
- ・空き家等適正管理・活用促進事業

#### 【上下水道】

- ・浄水施設改良事業  
(新大平配水池)
- ・水洗トイレリフォーム補助金

#### 【行財政運営】

- ・公金収納サービス事業
- ・コミュニティ情報発信事業
- ・公民連携まち再生事業

皆が手をとりあって  
つくる、  
暮らしやすいまち

## ★平成29年度の主要事業、おもな成果

### (1)しごと・産業・交流



・地域おこし協力隊「うるしひと」を、新たに3名任命。漆搔きや樽づくり、木地づくりの研修を受けている（写真）

・滴生舎、なにゅーとの大規模改修が完了。それされ、漆振興の拠点、観光交流の拠点として始動する

・二戸市、一戸町、軽米町、九戸村の若者を中心に、各々の観光資源等の発信力を高める「カシオペアブランド発掘・発信事業」を開始

### (3)暮らし・安心・健康



・九戸城は、①エントラントス広場から本丸につながる木道（写真）、②展望やぐらの整備を行い、来場者のよりスムーズな誘導が期待される

・「健康マイレージ制度」を試験的に斗米、仁左平地区で導入、受診率の向上が図られた。次年度は別の地区を対象に行う予定

・「にこにこ号」循環バス（八幡下～荷渡）昨年4月から本格運行開始

### (2)子ども・若者・女性



・病児保育施設が完成を迎える。施設は、小児科診療所の診療開始に合わせ、6月から利用が始まること

・中央児童クラブの移転施設も完了（中央小敷地内）。利用学年を3年生までから6年生までに拡大し、市内すべての児童クラブにおいて、全学年の受け入れが可能となる

・乳幼児等の医療費助成を中学生まで拡大

### (4)地域力・行政力・共創



・公民連携まち再生事業では金田一温泉周辺地区で2回、九戸城周辺地区で1回「リバーフォーラム」を開催（写真）

・市道中村杉中線（通称国体道路）の急カーブ解消に着手

・八戸、久慈、二戸圏域の連絡協議会において、漆振興専門部会を設置。自治体間の連携が期待される